

～入賞者・大会関係者コメント～

男子シングルス

優勝



安保 武輝 (筑波大学1年)

この度は、全日本教育系学生バドミントン大会で初優勝することができ、とても嬉しく思います。

この優勝は私だけでなく、親や先輩方、支えてくださった皆様のおかげです。今大会を運営してくださった方々、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

今回の優勝を励みに、さらなる高みを目指して練習を積み重ねてまいります。

準優勝



吉井 一貴 (帝京大学)

第3位



大澤 史和 (立教大学)

第3位



宮下 龍邦 (立教大学)

男子ダブルス

優勝



永瀬 雄大 (筑波大学3年)

この大会を開催するにあたってご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

1人の競技者としてバドミントンをより素晴らしいスポーツにするため相手に対するリスペクト、感謝の心を持った選手であり続けられるよう日々過ごしていきたいと思います。

中村 舜 (筑波大学3年)

昨年度のシングルス優勝に引き続き、今大会はダブルスで優勝でき、大変嬉しく思います。自分自身の目標に向けて日々精進して参ります。

最後に大会運営にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

準優勝



佐々木 志穂・三浦 颯太
(作新学院大学)

第3位



廣瀬 礼桜・福井 大和
(立教大学)

第3位



吉田 翔哉・佐藤 悠貴
(筑波大学)

女子シングルス

優勝



高橋 奈那 (作新学院大学)

この度は今大会で優勝することができ、自分の自信になりました。4年生で最後の大会が続いていくので、これからも日々努力していきたいと思います。

準優勝



長廻 真知 (筑波大学)

第3位



保立 夏花 (東京大学)

第3位



小笠原 志歩 (立教大学)

女子ダブルス

優勝



中原 鈴 (筑波大学2年)

まずは、本大会を開催してくださった方、運営してくださった方に心からお礼申し上げます。結果としては昨年に引き続き、ダブルスで優勝できたこと嬉しく思います。この結果に満足せず、これから先の多くの大会で優勝という結果を残していけるよう日々練習に励みたいと思います。

広瀬 未来 (筑波大学2年)

この大会に望むにあたり、まず開催して頂いた教職員の方々や当番校の方々に感謝をしたいと思います。

昨年と同様に優勝という成績を残す事が出来て、大変嬉しく思います。

この大会を機に、日々高みを目指して、自分自身の目標達成に向けて頑張りたいと思います。

準優勝



神山 和奏・須崎 沙織
(筑波大学)

第3位



日下 智晶・石塚 日菜子
(大妻女子大学)

第3位



齋藤 美海・小早谷 百華
(作新学院大学)



今大会を通して、大会運営を行うことの難しさを強く感じました。最も強く感じたのは大会規模の拡大が困難であることです。大会の規模を拡大していくうえで大会の性質が1番の課題となりました。参加資格が教育系大学と制限されているため、新規大学の候補が多くありません。そこで新規大学への連絡を工夫し、連絡した大学が参加する確率を高める必要がありました。実際に、大会のレベルの周知のために要項と一緒に昨年度の結果を添付するなどを行いました。結果的には、過去最高の参加人数を達成することが出来ました。

最後になりますが、私達は理工系大会という東京理科大学主催の大会を毎年開催しております。バドミントン人気を活性化させるためにも、是非参加して頂けると幸いです。

三橋 里駒 (東京理科大学)